

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : **2001-004961**

(43)Date of publication of application : **12.01.2001**

(51)Int.Cl. G02C 5/22
G02C 5/16

(21)Application number : **11-215737**

(71)Applicant : **OPTIC PURIMA:KK**

(22)Date of filing : **23.06.1999**

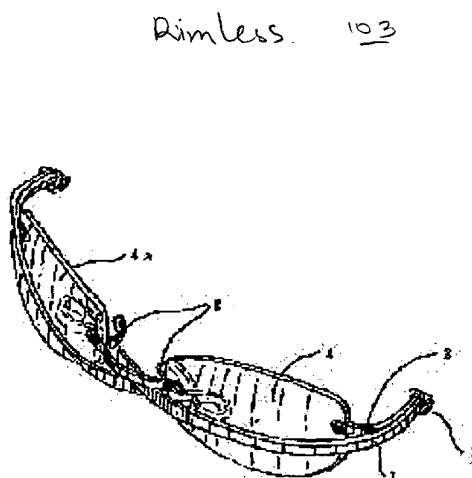
(72)Inventor : **NISHIKAWA KAZUYOSHI**

(54) FOLDING SPECTACLES

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide spectacles which are foldable without flapping of temples and without flawing of lenses when carrying the spectacles and which stay put by utilizing the elasticity of the temples even if a user make highly active exercises.

SOLUTION: The temples 1 which consist of superelastic blanks gradually curving toward an inner side in the form nearly complying with the curve of the bone of skull from forward to backward of a mounting surface have hinge connecting parts 3 to be horizontally held and stopped at the rear of the lenses 4 together with wraparound endpiece parts 2. The temples 1 in the hinge connecting parts 3 are turned about 180° until a horizontal stop state is attained in front of the lenses 4 by way of the lower side from the backward horizontal state. The temple ends are further curved and turned around from below to the rear surfaces of the lenses 4a on the side opposite to the mounting portions from the forward horizontal state and are held and stopped by the rear surfaces of the lenses and pad arm parts 5.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japanese Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-4961

(P2001-4961A)

(43) 公開日 平成13年1月12日 (2001.1.12)

(51) Int.Cl.⁷

G 0 2 C 5/22
5/16

識別記号

F I

G 0 2 C 5/22
5/16

データベース (参考)

2 H 0 0 6

審査請求 未請求 請求項の数 5 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平11-215737

(22) 出願日 平成11年6月23日 (1999.6.23)

(71) 出願人 593018231

株式会社オブティックプリマ

福井市文京7丁目8番7号

(72) 発明者 西川 一義

福井市文京7丁目8番7号 株式会社オブ

ティックプリマ内

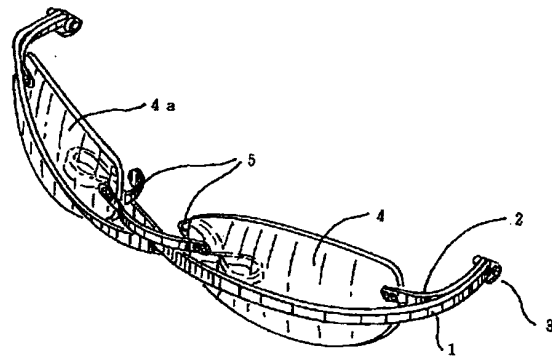
Fターム (参考) 2H006 AA02 AB03

(54) 【発明の名称】 折りたたみメガネ

(57) 【要約】

【目的】 メガネを持ち歩く場合、テンプルがバタつかず、レンズに傷がつかないで折り畳めるようにし、使用時には、テンプルの弾性を利用してスポーツなどの激しい運動をしても外れないようにすることを目的とする。

【構成】 装着面前方から後方に向かって、ほぼ、頭蓋骨の曲線に沿う形で、しだいに内側に湾曲してゆく超弾性素材よりなるテンプルは、ヨロイ部と共にレンズ後方に水平に保持停止させるヒンジ連結部を有し、該ヒンジ連結部において、該テンプルを後方水平状態から、下方を経由し、レンズ前方で水平停止状態になるまで約180度回動し、前方水平状態から、更にテンプルエンド部を、取付部分と反対側のレンズ裏面に下方より曲げ廻り込ませ、レンズ裏面と、パッド足部により挟持停止させる折り畳みメガネ。



【0014】図7は、ヨロイ2とテンブル1aのヒンジ連結構造部分の要部斜視図であって、該ヨロイ端部と、端部上面にストッパーを設けた該テンブルを垂直に重ね合せて、回動可能にネジで螺着し、該テンブルをフロントフレーム後方水平状態から、連結部分を中心として、下方を通りレンズ前方に約180度回動可能としたヒンジ連結構造で、この方法によると、前記したように、逆にテンブル部を固定して、ヨロイ付のレンズ角度を調整できると言う、二次的な効果が得られる事となった。

【0015】なお、本発明で使用する素材は、β-チタン合金の中から選ばれる材料が最も好ましい効果を奏する。

【0016】図1から図5迄に描かれたメガネの形態は、ツーポイント（縁無し眼鏡）であるが、勿論リム付のメガネフレームであっても同じく、この方法は有効に機能する事は言うまでもない。

【0017】

【発明の効果】本発明は、以上説明したような形態で実施され、以下に記載されるような効果を奏する。

【0018】すなわち、上記構造を採用する事により、コンパクトに折畳み可能で、レンズ表面を傷つける事も無く、持ち運び出来る。

【0019】また超弾性素材のテンブルはそのバネ性が非常に高いため折り曲げ回り込ませた該テンブルをメガネを再度装着するときに元に戻る特徴があり且つバネ性が適度の締め付けにて装着者の掛けごこち感を供与している。

【0020】又、レンズ面の角度調整が可能であるの *

*で、老眼鏡として、近くを見る時にも非常に便利である。

【0021】以上の様に、幅広い活用が期待できる、新規な折畳みメガネフレームである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のメガネフレームの斜視図

【図2】本発明の連結構造のテンブルを折りたたんだ斜視図

【図3】本発明のテンブルを折りたたんだ時の上部平面図

図

【図4】本発明のテンブルを任意の位置で曲げたときの側面図

【図5】本発明のメガネを掛けた時の平面図

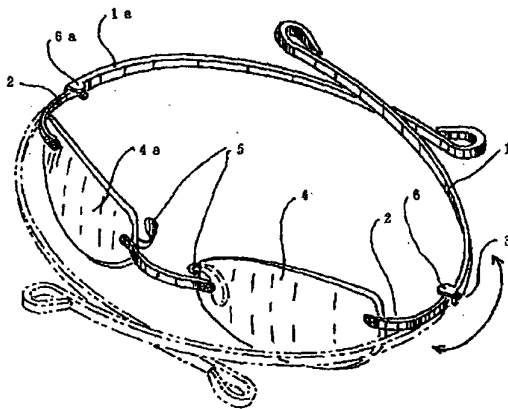
【図6】本発明のテンブルエンド部の要部拡大図

【図7】本発明のヒンジ部の要部拡大図

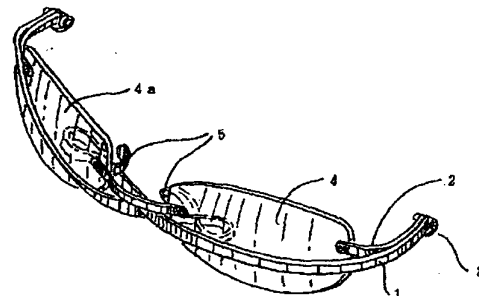
【符号の説明】

- | | |
|------|--------------------|
| 1、1a | テンブル |
| 2 | ヨロイ（部） |
| 3 | ヒンジ部 |
| 4、4a | レンズ |
| 5 | パッド足部 |
| 6、6a | ストッパー |
| 7、 | 台（展示用又は机） |
| 8、 | ブリッジ |
| 9、 | 樹脂コーティングしたテンブルエンド部 |
| 10、 | 樹脂短モダン |
| 11、 | ネジ |
| 12、 | 頭蓋骨 |

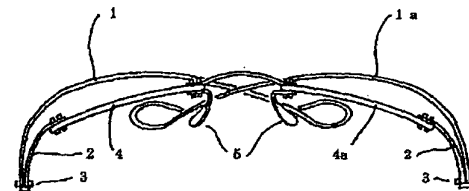
【図1】



【図2】



【図3】



結部に於いて、該テンツルを後方水平状態から、下方を
經由し、しんす前方で水平停止状態になるまで約180
度回動し、前方水平状態から、更に、テンツルエフ部
を、取付部分と反対側のしんす裏面に下方より曲げ廻り
込ませ、しんす裏面と、パツフ足部により挟持停止させ
る事を特徴とする構造を採用する事により、上記課題の
解決を図った。

【0005】

【実施例】以下、本発明の実施例を図によって詳細に説

10

明する。

【0006】図1は、第一の実施形態の全体斜視図であ

り、装着面前方から後方に向かって、ほぼ、頭蓋骨の曲
線に沿う形で、しだいに内側に湾曲してゆく超弾性素材
よりなるヨロイ部2と、ストップバー（停止片）6、6a
を設けたテンツル1、1aをしんす部3を介して、後方
水平状態から、下方（矢印）を通り、しんす前方に約1

80度回動させた状態を示しており、

【0007】図2は、更に、前記前方水平状態から、テ

ンツルエフ部を取付部分と反対側のしんす裏面に下方

より曲げ廻り込ませ、しんす裏面と、パツフ足部5によ

り挟持停止させた状態を表しており、しんす4表面を保

護し、且つ、コンパクトに折畳み収納可能となり、テン

ツルもバタつくことなく、しかり収納される。

【0008】図3は、前記の図2のパツフ足部5にテン

ツルエフ部分を収納した平面図であって、しかり

と、左右のテンツル1、1aでしんす面を保護し、コン

パクトに折畳まれており、持ち運びにも便利である。

【0009】又、超弾性素材をテンツルに使用してある

ので、図3の状態からテンツルエフ部を下に少し押し

ただけで、テンツル1、1aは元の前方水平状態に復元す

る。

【0010】図4はテンツルを、任意の角度に前方に回

動した状態で、台7等に置いた側面図であって、倒れ難

く安定が良いので、しんす表面をこする事も無く、又、

見えも良いので、店頭展示等の際にも非常に役に立

つ。

【0011】図5は、本発明のメガネを掛けた時の上方

から見た、平面図であって、湾曲する超弾性素材よりな

るテンツル1、1aを広げて、耳の後ろの頭蓋骨部分

で、テンツルの弾性を利用して掛ける為に、安定性が非

常に良く、スポーツ等の激しい運動をしても外れ難い。

【0012】又、この掛けた状態に於いては、しんす部

3の機能により、ヨロイ部2もしくは、しんす4、4a

を使用する場合に於いては、非常に有効となる。

【0013】図6（イ）は、外側にカールさせた、テン

ツルエフ部に樹脂コーティングした要部斜視図で、

（ロ）は、樹脂で短モタツ形状にした要部斜視図である

が、一参考図であって、勿論この形状にとられるもの

ではない。

【特許請求の範囲】

【請求項1】装着面前方から後方に向かって、ほぼ、頭

蓋骨の曲線に沿う形で、しだいに内側に湾曲してゆく超

弾性素材よりなるテンツルは、ヨロイ部と共にしんす後

方水平に保持停止させるしんす連結部を有し、該しんす

連結部に於いて、該テンツルを後方水平状態から、下方

を經由し、しんす前方で水平停止状態になるまで約18

0度回動し、前方水平状態から、更に、テンツルエフ

部を、取付部分と反対側のしんす裏面に下方より曲げ廻

り込ませ、しんす裏面と、パツフ足部により挟持停止さ

せる事を特徴とする、折畳みメガネフレーム。

【請求項2】前記ヨロイ部が、メガネフロント部取付場

所から、横に水平に突出し、該突出状態から後方水平方

向にしたいに内側に緩やかに湾曲する、超弾性素材より

なる事を特徴とする請求項1記載の折畳みメガネフレイ

ム。

【請求項3】前記、超弾性素材が、 β -チタン合金であ

る事を特徴とする請求項1及び2に記載の折畳みメガネ

フレーム。

【請求項4】前記テンツルエフ部をカール状に丸くし

たことを特徴とする請求項1記載のメガネ。

【請求項5】テンツル部とヨロイ部のしんす連結構造で

あって、該ヨロイ端部と、端部上面にストップバーを設け

た該テンツルを垂直に重ね合せて、回動可能にネジで締

着し、該テンツルをフロントフレーム後方水平状態か

ら、連結部分を中心として、下方を通りしんす前方に約

180度回動可能としたしんす連結構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、新規な折りたたみ

メガネフレームの構造に関する。

【0002】

【従来の技術及び本発明が解決しようとする課題】従来

より、メガネを外して持ち歩く場合には、ケース

に入れるか、ポケットもしくは、バッグに入れて持ち運

ぶ訳で有るが、ケースに入れると嵩張り、そのままポケ

ット等に入れて持ち歩くと、しんす表面が傷ついたり、

ポケットの中でバタついたり邪魔になることも多かつ

た。

【0003】又、簡単に折畳める簡易型の眼鏡に於いて

は、持ち運びには便利であるが、逆に掛けている時には

ズリ落ち易く、スポーツ等の激しい運動には、適さなか

った。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、持ち運びが不

便、ズリ落ち易い、という上記二つの課題を一事に解決

する為に、装着面前方から後方に向かって、ほぼ、頭蓋

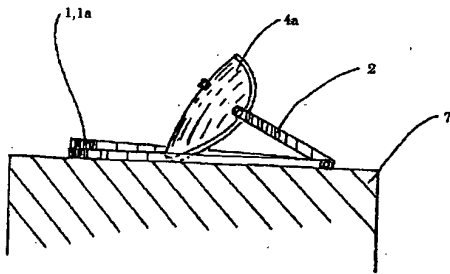
骨の曲線に沿う形で、しだいに内側に湾曲してゆく超弾

性素材よりなるテンツルは、ヨロイ部と共にしんす後方

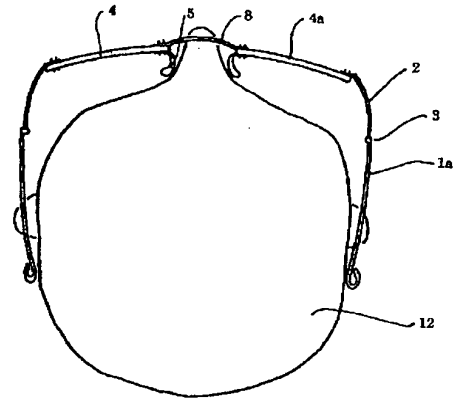
水平に保持停止させるしんす連結部を有し、該しんす連

50

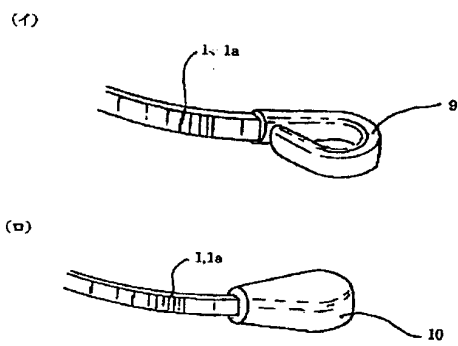
【図4】



【図5】



【図6】



【図7】

